

## “今週の国際宇宙ステーション（ISS）”

**最初のISS構成要素打上げから1593日経過しました  
第6次長期滞在クルーのISS滞在は126日経過しました**

### ISS動向

ペティ宇宙飛行士が修理を続けていた微小重力グローブボックス（MSG）は先週初めに復旧しました。MSGは微小重力下で炎や液体を使った実験ができるように隔離された空間を提供するものです。

また3月26日にペティ宇宙飛行士は埼玉県入間市立東金子中学校とスロベニアの小学校とアマチュア無線による会話を行ないました。さらに翌日には3人の宇宙飛行士がテキサスの中学生と交信を行ないました。

ISSステータスレポートの仮訳は下記URLをご覧ください。  
<http://jem.tksc.nasda.go.jp/iss/report/index.html>



MSGを修理する  
ペティ宇宙飛行士

## “コロンビア号事故調査状況”

### 飛行データ記録装置を回収

2月1日に起こったスペースシャトル「コロンビア号」事故からちょうど2ヶ月がたちました。先週にはコロンビア号の飛行状況を記録した装置が回収され、解析が行なわれています。NASAは2000平方キロ余りの範囲の搜索を終え、機体全体のおよそ26%にあたる量の破片を回収しました。NASAによれば破片の回収は5月初めまで続けられる見込み、とのこと。



回収されたデータ記録装置

## “トピック”

### まもなく筑波宇宙センター特別公開

NASDAは今年も4月の科学技術週間の筑波宇宙センター特別公開を行ないます。今回はNASDAの本社がつくばに移転して初めての特別公開となります。今年の公開日は4月19日（土）です。恒例となったスペースシャトルの飛行服を着ての記念撮影、無重量実験などに加えて、ヴァーチャルリアリティ（VR）シミュレーションを使った“3次元コンピュータ・グラフィックスによるISS体験コーナー”、“スペースシャトルグライダーを作ろう！”コーナーなど新しい出し物も予定されています。皆様お誘い合わせの上、ぜひご来場下さい。



昨年の水ロケット打上げ風景

筑波宇宙センターへの案内は下記をご覧ください。  
[http://www.nasda.go.jp/pr/visit/tksc/index\\_j.html](http://www.nasda.go.jp/pr/visit/tksc/index_j.html)

**2003年10月1日から宇宙開発事業団は独立行政法人宇宙航空研究開発機構に移行します。**

問い合わせ先: 宇宙開発事業団 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ISS・きぼうホームページ <http://jem.tksc.nasda.go.jp> Eメール [kibokoho@nasda.go.jp](mailto:kibokoho@nasda.go.jp)

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。